

STATION GALLERY

- 開館時間 午前10時～午後7時
- 場 所 JR東海駅(駅舎2階)
- 問 合 せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

第2回水墨画速水会展

10月12日(日)～10月18日(土)
(午後5時まで。18日は午後3時まで)

津留速水さん(日本中国水墨交流協会副会長、茨城日仏協会理事)が指導する東海村やひたちなか市など5教室の生徒作品展です。横山大観の思想や迫力、気品を表現するよう努力しており、日ごろの成果を発表します。



創造茨城支部展

10月19日(日)～10月25日(土)
(25日は午後3時まで)

創造茨城支部は、平成11年に洋画家7人で発足したグループで、自由な手法による制作、個性と人間性を尊重した活動を展開しています。今年6月に開催された第61回創造美術展出品作に新作を加えて展示します。



第2回「東海まつりフォトコンテスト作品展」

10月26日(日)～11月1日(土) (予定)
第30回記念「東海まつり」の写真を展示の予定です。

企画展「塩づくりのムラと千々乱風伝説」～村松白根遺跡～

11月2日(日)～11月15日(土)
(15日は正午まで)

「村松白根遺跡」は、J-PARC建設予定地から塩作りの集落跡が発掘され、古くから伝わる文書「村松塩竈」や「千々乱風」伝説との関連をうかがわせる遺跡として注目を浴びました。今回の展示では、発掘された遺物や資料パネルを通して、その全貌をご紹介します。



文芸とうかい

〔俳句〕

雷鳴と大雨に飛ぶ鬼やんま 東海 佐藤 とよ
風鈴の涼しき音色や夕すずみ 豊 白 中島エミ子
古い二人虫の声きする食事 東海 片野 紀夫
太陽に恋するひまわり背伸びして 東海 伊東 幸子
遠ざかる火に一礼す送り盆 南 台 渋谷ひろし
夜半の風呂ひとり聴きいる虫の声 船場 畑 耕太

背を押さる秋の細浦風の径

村松北 小野寺紀夫
寝しずまりコオロギの声物悲し 外 宿 照沼あや子

朝月夜皓々として稲の花 村 松 松本 正勝

黒髪や揺れる障子の月夜かな 舟石賢四 辻本 國男

秋枯梗紫と言ふ好きな色 舟石川 舛井 愛子

虫の音に誘われ耳を蚊に喰われ 外 宿 西山 純一

〔短歌〕

ひんやりと朝の冷氣のこちちよくわれ懸命に青草を刈る 外 宿 小林美代子

三人の娘提灯飾りおり新盆迎え想いの深し

舟石賢四 工藤和一郎
四台の山車が繰り出す東海の祭りの夕べ和太鼓競う 船 場 舛井庫之助

廃屋の雑草の中ひそと咲く観る人も無き花を哀れむ 南 台 根本内俊男

秋立ちて激しき夏の蝉しぐれいつしか遠のきコオロギの鳴く 外 宿 高槌 すみ

綿あめを持ちて浴衣のおみなごら祭りの中に見えて羨しも 須和間 柴山 靖子

夏祭り老若男女楽しそう盆踊り会に模擬店活気

照 沼 佐藤 昇
声高に話す輪もあり沈む顔本読むわれも病廊のいす 緑ヶ丘 佐藤 正

趣味そしてただつれづれに習いたるハモニカ生きるよすがとなれり 村 松 高橋 正弘

駒をとめ閑の梢に妹惚ぶみちのく巡礼夕立に遇う 内 宿 村上 文江

そぞろなる秋をおもいて十五夜の月のあかるき庭に降り立つ 舟石川 小川志つ江